

災害対策用機械操作訓練実施！！

1. 【概要】 高山国道事務所では、飛騨三協防災対策協議会と協定を締結し、災害時に協力して、応急対策や災害支援の作業を行います。災害時には、協議会会員が当事務所保有の災害対策用機械を用いて、被災地で支援活動を行うことが想定されています。そのため、高山国道事務所職員と協議会会員、合同で以下のとおり訓練を実施します。
2. 【日時】 令和元年7月31日（水） 1部（ 9：00～12：10）
2部（13：00～16：10）
（予備日）8月5日（月） 1部（ 9：00～12：10）
2部（13：00～16：10）
※小雨決行 ※1部と2部の内容は同じとなります。
3. 【場所】 きよみ まきがほら
高山市清見町牧ヶ洞地内
中部縦貫道 おどり
小鳥トンネル牧ヶ洞電気室構内（別紙1参照）
4. 【訓練内容】 「照明車」、「散水車」、「待機支援車」、「Ku-SAT」の操作説明及び操作訓練
（参考：別紙2-1、別紙2-2）
5. 【配布先】 高山記者クラブ
6. 【お問い合わせ先】 国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所
管理副所長 澤田 敦則（さわだ あつのり） TEL（0577）36-3823
管理第一課長 高野 元彦（たかの もとひこ） FAX（0577）36-3841



照明車

昨年度の訓練の様子

地上から約10mの高さから、
約20時間連続で照らします。

一分間にドラム缶約2.5分
の水を排水します。

ベッド、トイレ、シンクなど
があり派遣職員の現地での生
活をバックアップします。

通信衛星を介して、映像の送
受信や通話が可能です。



散水車



待機支援車

Ku-SAT

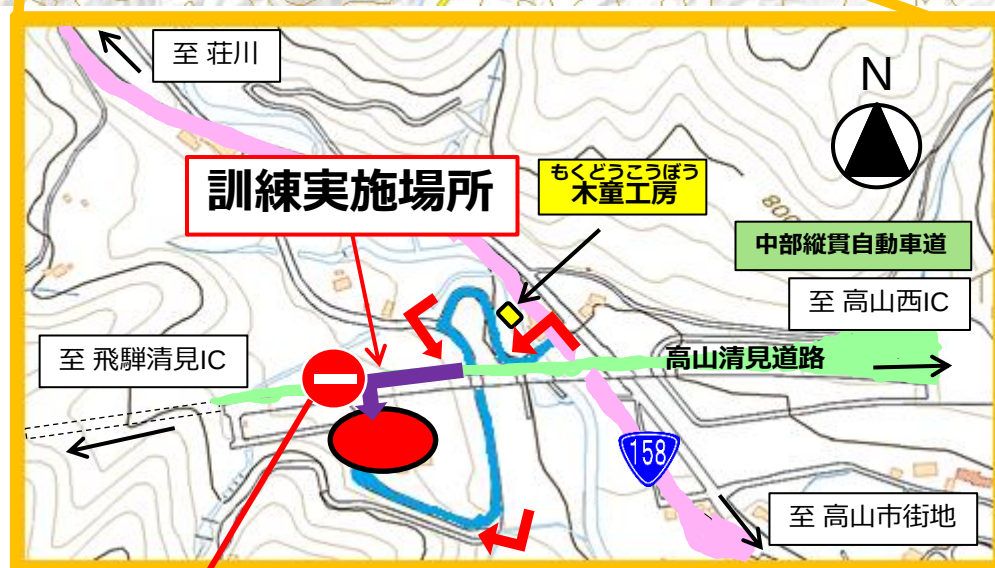
PRポイント

「平成30年7月豪雨」時は、飛騨地域のいたるところで甚大な被害が発生しま
した。今回の訓練に使われる照明車は、数河で発生した土砂流出の現場を約
1ヶ月の間照らし続け、昼夜を問わない復旧作業を可能にしました。災害対策
用機械は円滑な復旧活動を進めるために不可欠なため、本格的な台風シーズンの
到来を前に操作技術の習得を図ります。

位置図



国土地理院標準地図



国土地理院標準地図

※中部縦貫自動車道（高山清見道路）からは直接入ることができません。
 高山市街地からは、国道158号を荘川方面に進み、
 「木童工房」手前を左折してください。
※地図の青色の部分です。

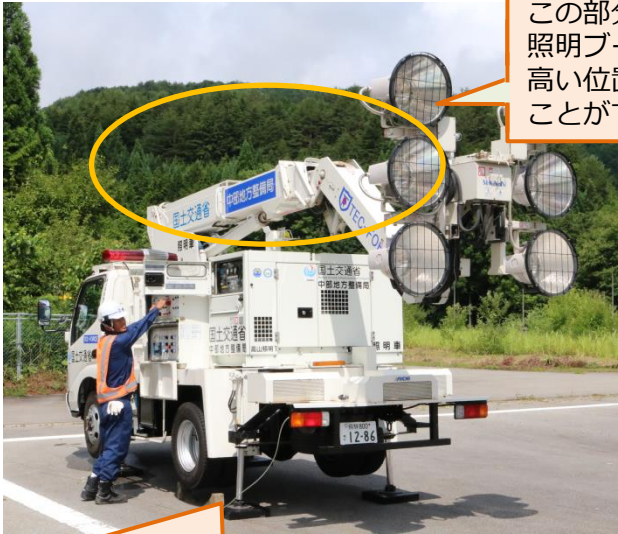
飛騨三協防災対策協議会について

一般社団法人飛騨三協防災対策協議会は、飛騨地域の土木・電気業者41社により構成されている組織であり、高山国道事務所との災害協定に基づき、災害発生時における応急対策や災害支援を行っています。

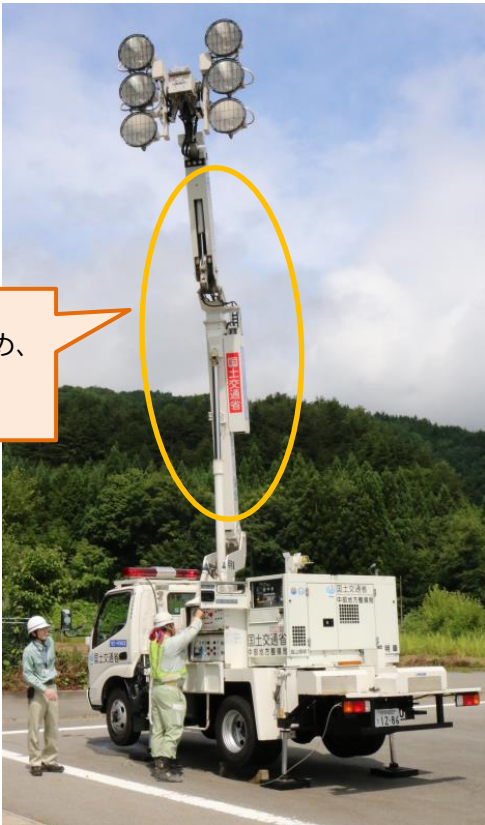
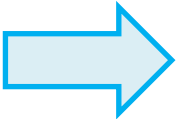


照明車について

機械名	訓練内容
照明車	車両の設置・撤去 照明ブームの展開・格納



この部分が照明ブームです。
照明ブームは伸縮可能なため、
高い位置から照明で照らす
ことができます。



ジャッキを設置し、車体を安定させま
す。これにより、照明ブームを操作し
ても車体が動くことはありません。

散水車について

機械名	訓練内容
散水車 (給水車)	給水カランの設置・撤去 水タンクへの給水

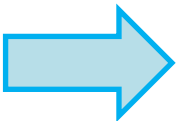


水タンクです。
この部分で水をためています。



ポンプで水をくみ上げ、
水タンクに給水します。

この部分が給水カランです。
蛇口が取り付けられ、
水を出しやすくなっています。



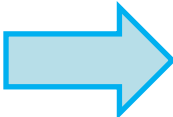
待機支援車について

機械名	訓練内容
待機支援車	展開状態での展示・内部確認



待機支援車です。
支援のために様々な装備を持っています。

調理台などの厨房設備、
ベッドなどの宿泊設備が
内蔵されています。



発電機も内蔵されており、
電源設備として運用できます。

Ku-SATについて

機械名	訓練内容
Ku-SAT (衛星通信装置)	機器の設置・衛星補足 機器の接続・通話

Ku-SATです。
通信衛星を介して通信するた
めの装置で、映像の送受信や
通話が可能です。



Ku-SAT設置の様子です。

